

熊本でサッカーを“プレーする・応援する・支える”すべての人に

KFA NEWS 2026.1 No.29

Kumamoto Football Association News ▶

<https://kumamoto-fa.net/>

WINTER

熊本県サッカー協会広報紙

発行者／一般社団法人 熊本県サッカー協会 広報委員会

スポーツくじ



この会報誌は、スポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています



11月3日、熊本県フットボールセンターCOSMOSのオープン3周年記念祭が開催され、マルシェやキッチンカー、サッカー教室などを目当てに、親子連れなど約2千人が来場。また、サッカーを通じた社会貢献の一環として、COSMOSを地域の防災拠点として活用する取り組みも始まりました。

特集
1COSMOS 3周年祭を開催！
今後は地域の防災拠点としても機能

より地域に開かれた施設に
誰もが楽しめる一日をCOSMOSで！

今年で3回目を迎え、地域の恒例イベントとして定着してきたCOSMOSの周年祭「ふれあいファミリーDAY」。当日は、元サッカー選手の北澤豪さんのジュニアサッカースクールや女子100mハードルで東京五輪に出場した寺田明日香さんのランニング教室など、スポーツ施設ならではのイベントから、マルシェやはたらくのりもの乗車体験など、誰もが楽しめるものまで、文字通り家族のふれあいの場となりました。

COSMOSでは、今後も周年祭だけでなく、さまざまな場面で、地域のスポーツ・文化の交流拠点としての役割を果たしていきたいと思っています。

スポーツ施設としてできる地域貢献を
JFAと嘉島町が防災協定締結

「熊本を日本有数のサッカー王国に」の目標のもと2015年に建設計画がスタートしたCOSMOS。熊本地震を経て、県サッカー界の復興のシンボルとしての位置づけも加わりました。そうした中、COSMOSを防災拠点として活用するという取り組みが始まり、11月30日に日本サッカー協会(JFA)と嘉島町との間で防災協定の締結式が行われました。JFAが自治体と防災協定を結ぶのは全国初。今回の協定締結に当たってJFAからは、災害発生時に被災地に移動させ、ボランティアの活動拠点など、さまざまな用途に活用できるソーラーパネル付きトレーラーハウス1台と、災害時でも子どもたちが安心・安全に体を動かして遊ぶための場所を確保するためのキッズビッチが贈られました。

熊本県サッカー協会の松下事務局長は、「今後もさまざまなところと繋がり、サッカーファミリーだけでなく広く県民の皆さんのためになるような活動を続けていきたい」と話します。全国のモデルとなるような防災拠点を目指します。

熊本県サッカー協会や熊本県フットボールセンターCOSMOSなどの情報はコチラ！

熊本県サッカー協会



ホームページ



YouTubeチャンネル



公式LINE

熊本県フットボールセンターCOSMOS



ホームページ



Instagram

「Sportsnavi」
熊本県サッカー協会関連記事

こすもす保育園



ホームページ



Instagram



園見学・入園随時募集中！

こすもす保育園では、多様な実体験と、それができる環境を提供することで、子どもたちに「やさしい心」「強い心」「たくましい体」「自ら生きる力」を育むことを目標としています。また、隣接する熊本県フットボールセンターCOSMOSなどを利用したスポーツ活動を通じて子どもたちの発育を促し、社会性や生活の基礎的習慣を養います。

企業主導型保育施設「こすもす保育園」

所在地／上益城郡嘉島町下六嘉1536-1
事業主体／株式会社熊本フットボールセンター
(一般社団法人熊本県サッカー協会100%子会社)
運営法人／社会福祉法人くすの実福社会
対象／1歳～就学前まで
定員／30名



【お問合せ】

こすもす保育園

TEL.096-235-7111

E-mail: cosmoshoikuen.knf@gmail.com

こすもす保育園の
情報はコチラ！

ホームページ



Instagram

特集2 “公立の星” 大津高校サッカー部強さの秘密



プレミアリーグで優勝を果たし喜びに沸く大津高校イレブン



高校のグラウンドには、日本代表入りしたOBたちの巨大なペナントが掲げられ、現役部員たちを見守ります

公立高校でありながら全国屈指の強豪校として名を連ね、高校選手権、インターハイ(高校総体)、高円宮杯 JFA U-18サッカープレミアリーグなどで輝かしい実績を収めている県立大津高校サッカー部。また、卒業後に大学やJリーグ、そして日本代表でも活躍する選手を数多く輩出するなど、育成面でも注目を集める同校。同校出身で、現在、Jリーグ鹿島アントラーズでゲームキャプテンを務める植田直通選手を兄に持つ植田明依さんが、山城朋大監督にインタビューし、その強さの秘密に迫りました！



高校の玄関には、これまでの数々の荣誉称える賞状やトロフィーなどが飾られています

数多くのJリーガー、日本代表を輩出
平岡イズムの浸透が生んだ好循環

―まず、大津高校のサッカーの特色を教えてください。

山城 私たちが目指しているのは、「将来の日本代表選手」を育てることです。それだけでなく、社会に出てリーダースhipを発揮できる人材を育成するという理念があります。サッカーの部分では、誰にも負けない「武器」がなければプロでも海外でも勝負できないので、一人一人のストロングポイントをしつかり伸ばすことに重点を置いています。また、チームとして変わらず続けているのは、「人もボールも動くこと」と、常に人を追い越す動き」です。もちろん、サッカーの戦術は時代によってトレンドがありますが、これらは普遍的な部分だと思っています。

―高校サッカーの強豪校は、ほとんどが私立高校の中、大津高校は公立高校です。どうやって強さを保ち続けているのでしょうか？

山城 何よりも前監督の平岡先生(現テクニカルアドバイザー)が、30年かけて積み上げてこられたものが大きいと思います。さらに、そこから巣立った先輩方がまた指導者になり、小学生や中学生を教えて大津高校に入ってくるというサイクルができてきて「チーム大津」として大津のサッカーを作り上げていると思っています。また、大津町が町をあげてサッカーに力を入れてくださっていることも要因の一つです。町の運動施設を練習で使わせてもらったりなど、普通の公立高校よりも恵まれた環境でサッカーに取り組めているのは事実です。

―大津高校の強さの礎を築いた平岡先生の教えて印象に残っているものはありますか？

山城 私が高校生だった当時、平岡先生がミーティングで話したことを書きとめていたノートは、今でも見返すことがあります。例えば、「24時間をデザインする」という言葉。高校時代はなかなかそれを実践できた実感がありませんでした。が、大学生、社会人になってその大切さや実践の仕方が分かります。改めて先生に感謝したこともあり

―ご自身が考える監督としての「強み」は何だと思えますか？

山城 選手としても指導者としても平岡先生から直接学べたことは何物にも代えがたい強みだと思います。特に指導者として平岡先生と一緒に仕事をすることというのは、やりたくてもできることではありません。

―大津高校は、これまで50人以上のJリーガーに加え、日本代表を何人も輩出しています。高校卒業後も成長できる選手を育成できる仕組みや秘訣を教えてください。

人間育成に重きを置き
高校選手権をゴールにしない指導

―大津高校は、これまで50人以上のJリーガーに加え、日本代表を何人も輩出しています。高校卒業後も成長できる選手を育成できる仕組みや秘訣を教えてください。



部員が200人を超えるだけに、練習にも激しい競争意識がみなぎっています



熊本県立大津高校サッカー部
やましろ ともひろ
監督 山城 朋大さん

1989年4月11日生まれ。大津高校卒業後、福岡教育大学に入学し大学院修士課程を修了。2014年に大津高校サッカー部ヘッドコーチに就任。2020年、同校に教員として赴任しサッカー部監督就任。2022年全国高校サッカー選手権大会準優勝、2024年、高円宮杯プレミアリーグファイナル優勝など、数々の実績を残す。

表でキャプテンを務めた経験もあります。そういう重要なポジションを任せてもらえるような選手を多く輩出できているのは強みかもしれません。高校選手権を「ゴール」にせず、先を見て指導しているからこそ、昨年の卒業生70〜80人のうち40〜50人は、大学でもサッカーを続けてくれています。そうやって続けている中で、高校時代にはなかったものを身に付け、さらに成長する選手が出てきます。現在、ロアッソ熊本に所属している半代将都選手も、大学入学後2年間は全く目が出ませんでした。3年生から一気に開花しました。

―大津高校サッカー部が熊本県のサッカー界に与えている影響についてどう思いますか？

山城 先だって、熊本日日新聞に「熊本が全国有数のサッカー王国」という記事が掲載され、その代表例として、大津高校とソレックス熊本を取り上げてもらいました。もちろん、全国で実績を上げること重要ですが、それ以上に大津高校の卒業生達がさまざまなカテゴリーで選手や指導者として高校で学んだことを広めていくというサイクルが出来つつあるので、そうした部分でいい影響を与えられるようになれば嬉しいですね。大津高校だけが強ければいいわけではなく、そういうサイクルがどんどん他のチームにも波及していくって欲しいと思います。

―サッカーを通して「大津高校の生徒達に学んで欲しいことはありますか？」

山城 一つはサッカーの専門家になって欲しいですね。指導者やトレーナーなどの専門職でなくても、他のチームの人よりもサッカーを語れるような人材、そしてサッカー以外の場所でもリーダースhipを取れるような人間を目指して欲しいと思います。大津高校のよう

「平岡先生を選手権で胴上げ」
OBから現役生までをつなぐ思いが強さの源

山城監督が、生徒達の特徴に合わせて分かりやすく丁寧に指導されているのが印象的でした。練習では楽しさを交えつつも、試合で実践しやすいよう細かく場面設定するなど、選手達の理解を促す工夫が数多く見受けられました。

インタビュー
植田 明依さん



1998年5月10日生まれ。熊本県立大津高校出身。兄は植田直通選手(J1鹿島アントラーズ所属)。2024ミス・インターナショナル日本代表で、現在は熊本県モンパサダー(くまモン×アンパサダー)や宇土市親善大使を務める。

―最後に今後の目標を教えてください。

山城 近いところでは、今教えている生徒たちが卒業後に日本代表や社会に出て活躍できる人間になって欲しい。また、大きな目標としては、平岡先生を、高校時代(帝京高校)のキャプテンとしても指導者としても選手権で優勝する最初のサッカー人にする。これは私たち大津高校OBにとっての悲願でもあります。

よしもと小児科は、
ロアッソ熊本、熊本ヴォルターズ、
そして熊本の頑張る人を応援しています

詳しい情報はコチラ！➡

医療法人社団 吉本会 よしもと小児科

ゆめタウン光の森より阿蘇方面へ車で約5分、菊陽バイパス沿い ➡

KFA NEWS
熊本県サッカー協会広報紙

広告協賛募集中

発行予定 30号/3月下旬発行

発行部数 20,000部

掲載料金 1/6サイズ 40,000円
1/3サイズ 70,000円

※金額はいずれも1回当たり
※税別・制作費込み

【発行元】一般社団法人 熊本県サッカー協会

【広告に関するお問い合わせ】
熊本県サッカー協会広報委員会 ☎090-4774-0183(風戸)

現在、県内にはサッカーJ2のロアッソ熊本やバスケットボールB2の熊本ヴォルターズ、バレーボールV.LEAGUEのフォレストリーヴズ熊本などのプロスポーツチームに加え、数多くの競技団体があり、熊本のスポーツ文化発展のために活動しています。そんな熊本のスポーツ界のホットな話題を毎号お伝えします。

チームの解散を乗り越えリーグ制覇を目指す！

VOLLEYBALL

2005年に熊本初の女子バレーボールのプロチームとして産声を上げた「フォレストリーヴズ熊本」。運営資金に恵まれず、スター選手もない中、“拾って、つなぐ”粘り強いバレーで徐々に力を付け、2008-09シーズンからVリーグ2部に参戦。2017-18シーズンでは、当時のV1リーグ昇格権を得るリーグ4位でシーズンを終えながら、直後に運営母体の会社の倒産でチームが解散するという悲劇に見舞われました。

一度は廃部となりVリーグからも退社したものの、そこからチームの再建が始まり、2021-22シーズンでV2リーグへの復帰を果たすまでになりました。その後、少しずつチーム力の向上を図り、昨シーズン(2024-25)は、2部リーグに相当するV.LEAGUEで11チーム中4位の成績を上げプレーオフに進出。今シーズン(2025-26)も、ここまで8勝2敗でリーグ3位(12月5日現在)の好位置に付け、リーグチャンピオンを決めるプレーオフ圏内(4位以内)をキープしています。これからシーズン終盤戦に向け、さらに熱い戦いを繰り広げます。



熱気あふれる会場。巨大な横断幕と声援が選手を後押しします



攻撃も守備も常に全力プレーの選手たちの戦いぶりが、観客の心を熱くします

キャプテン・入江彩水選手インタビュー

▶2019年の入団以来、熊本で7年目を迎えますが、熊本でお気に入りの場所などありますか？

シーズン中は、ほぼバレーと勤務先での仕事だけの日々ですが、オフの間中は車で阿蘇や天草などに出かけたりします。熊本の自然豊かなところがとても気に入っています。

▶勝利インタビューなどでも常に「感謝」という言葉を口にしていますが、どのような思いを込めていますか？

一度はチームの解散も経験し、多くの皆さんの支えがあって今のチームがあります。そうした方々への「感謝」こそチームの基盤だと思っているので、全員がその認識を共有できるように、日頃から選手たちにも感謝することの大切さを伝えています。

▶チームの強みは？

諦めない守備やつなぎですね。そこから攻撃につなげることでいい流れを作り、相手に流れを渡さないバレーを目指しています。

▶今後の抱負を聞かせてください。

一つでも多く勝ってプレーオフに進出することはもちろんですが、普段なかなかスポーツを見る機会のない方々にも「また見たい」「もっと応援したい」としてもらえるチームになりたいです。そのためには、ファンの方々とのふれあいやつながり作りを大切にしたいと思っています。

フォレストリーヴズ熊本の試合情報などは
公式サイトでチェックしてください！



支えてくれる方々への
「感謝」を胸にプレー



フォレストリーヴズ熊本

いりえ あやみ
入江 彩水選手

1999年、岡山県生まれ。173cm、ポジション／アウトサイドヒッター、背番号12。2019年にフォレストリーヴズ熊本に入団。2022-23シーズンではV.LEAGUE DIVISION2 WOMENの得点王。2024-25シーズンのV.LEAGUE WOMENでは得点王獲得のほか、レギュラーシーズンベスト6にも選出された。今季からはチームキャプテンとしてチームをけん引する存在。

ヴォルターズの試合会場でKFA NEWSを配布

BASKETBALL SOCCER

10月19日に、プロバスケットボールB2リーグの熊本ヴォルターズのホームゲームが行われた熊本県立体育館で、「KFA NEWS」28号の配布を実施しました。「KFA NEWS」では、前号からサッカー以外の幅広いスポーツを紙面で紹介するようになり、熊本ヴォルターズの石川海斗選手のインタビュー記事を掲載しました。

そこで、この日の開場に合わせて6人のボランティアの協力を得て約1000部を配布。開場を待ち長蛇の列を作っていたブースター一人一人に声を掛けながら、約1時間半かけて1000部をほぼ配り終えました。「KFA NEWS」は、今後も県内のさまざまなスポーツイベントの会場での配布を予定しています。サッカー、バスケットボール、バレーボール、ハンドボールなど、県内に拠点を置くチームの情報や選手のインタビューをお届けしますのでお楽しみに！



配布に協力してくださったボランティアスタッフの皆さん

障がいの有無に関わらずスポーツを楽しめる場

SOCCER FUTSAL

10月13日、パークドーム熊本にて「KFA第13回熊本スカンピオカップフットサル大会」を開催しました。この大会は、年齢やサッカー経験、障がいの有無に関わらず、誰もがフットサルを通じて交流し、共に楽しむ“インクルーシブなスポーツの場”を目指して実施しています。試合中には仲間同士で励まし合う声や、対戦相手への敬意ある振る舞いが多く見られ、まさに「共にプレーする楽しさ」が会場全体を包み込みました。

またこの日は、特別ゲストとしてロアッソ熊本のGK佐藤史騎選手も来場。参加者からサインや写真真実に遭っていました。なお、今回は初めて尚綱高校や必由館高校の生徒達がボランティアとして参加してくれました。今後も、この大会がインクルーシブスポーツの価値を地域に広げるきっかけとなるよう、温かく開かれた大会運営に努めてまいります。



世代や障害の有無を超えて集まった仲間たちが楽しい時間を過ごしました

「JFAキッズサッカーフェスティバル2025熊本」を開催

SOCCER

10月13日、2025年度県民スポーツの日「ふれあいスポーツ」事業の一環で、「JFAキッズ/ガールズサッカーフェスティバル2025熊本inパークドーム熊本」を開催しました。サッカー経験の有無を問わず、未就学児から小学4年生までの130人が参加。年代別に3つのグループ(未就学児、小学1・2年生、小学3・4年生)に分かれ、ワークショップ(トレーニング)とゲームを交互に繰り返すグラスルーツ形式で実施しました。

参加した子ども達は、人工芝の上で思いっきり体を動かしてサッカーを楽しんでいる様子で、「ワークショップで習ったドリブルがゲームでも成功して嬉しかった」など、それぞれに成果を感じていました。



女子26人を含む130人が参加。そのうち55人が未経験者と、サッカーのすそ野を広げるのにひと役買いました

フットサルで男女それぞれの県大会開催

FUTSAL

9月と10月に男女それぞれの全日本フットサル選手権熊本県大会が開催されました。9月21日、23日、10月13日に行われた「JFA第31回全日本フットサル選手権」熊本県大会(会場／ウイングまつばせ、ナースパワーアリーナ)には17チームが参加。決勝でエンフレンテ熊本フットサルクラブを下したハート熊本が優勝し、2026年1月17日・18日に熊本で開催される「JFA第31回全日本フットサル選手権九州大会」に熊本県代表として出場します。

10月13日にはナースパワーアリーナ(熊本市総合体育館)で「JFA第22回全日本女子フットサル選手権」熊本県大会を実施。プリメーロ熊本が熊本ハートユナイテッドSCフローラを下して同じく九州大会出場を決めました(九州大会は12月に宮崎県で開催)。



男子で優勝を飾ったハート熊本



女子の優勝はプリメーロ熊本

toto助成金で「熊本フットボールフェスタ2025」を開催

イベント・ウォッチ

EVENTWATCH

このコーナーでは、県サッカー協会が主催・主管する県内のサッカー大会やイベントの様子を紹介します。

熊本フットボールフェスタ2025 大会結果&今後の予定

大会結果

日時：2025年9月14日(日)
会場：リッタースポーツフィールド
(熊本市北区)
参加チーム数：U-7／6チーム
U-8／6チーム
(合計12チーム)
結果：U-7優勝／ソレッソ熊本①
U-8優勝／出水サッカークラブ



日時：2025年10月5日(日)
会場：リッタースポーツフィールド
(熊本市北区)
参加チーム数：U-7／6チーム
U-8／6チーム
(合計12チーム)
結果：U-7優勝／出水U-7
U-8優勝／ノルドU-8



日時：2025年10月26日(日)
会場：エボレパーク(菊陽町)
参加チーム数：12チーム(U-8のみ)
結果：優勝／菊陽U-8

日時：2025年11月16日(日)
会場：エボレパーク(菊陽町)
参加チーム数：U-7／4チーム
U-8／8チーム
(合計12チーム)
結果：U-7優勝／フィオリトゥーラU-7
U-8優勝／フィオリトゥーラU-8

今後の予定

日時：2025年12月14日(日)
会場：フットボールパーク御代志

日時：2026年1月25日(日)
会場：フットボールパーク御代志



地域子ども達により良いサッカー環境に触れる機会を

熊本県サッカー協会(KFA)では、2025年度スポーツ振興くじ助成金を受け、「熊本フットボールフェスタ2025」を来年1月まで開催しています。今年9月から全6回にわたり、県内3つの会場(各2回開催)でU-7、8のジュニア年代を対象とした大会を実施中です。

熊本フットボールフェスタ2025は、ジュニア年代のサッカー大会を熊本県内の複数のエリアで開催することで、人口が多いエリアに偏りがちな開催地を分散。県内のさまざまな地域の子ども達に参加してもらうことで、ジュニアの育成や体力向上につなげることを目的としています。

また、地域の大会では、人工芝や本格的なビーチコートでプレーする機会が少ないため、フットボールフェスタではより環境の整った施設で大会を開催することで、地域の子ども達により多く参加してもらうことはもちろん、競技力の向上にも繋がればと考えています。

「東京2025デフリンピック」で男女とも銀メダルを獲得！

INTERVIEW

さらに精進し、次こそ世界の頂点へ！ 来年からサッカーの魅力を届ける新たな活動も

《大会前》
—2024年春から約1年半にわたりドイツにサッカー留学していましたが、成長した点は？

湯野 球際の強さですね。それが国際大会で体格の大きな外国人選手を相手にするときも生きています。技術面だけでなく、体を大きくするために食事などにも気を付けました。

—デフリンピックでのメダル獲得に向けてのカギとなるのは？

湯野 相手を恐れずに自分たちらしいパスサッカーを90分間やり通せるかどうか。現在、日本は世界ランク4位ですが、ランキング上位の国も勝てない相手ではないと思います。

—聴覚に障がいのある人たちのデフサッカーで難しい点は？

湯野 健聴者は声を出せるので、ゲーム中の指示なども通りやすいですが、デフサッカーではディフェンスのラインコントロールを含め、味方とのコミュニケーションは全て手話やアイコンタクトです。音のない中で選手たちがどう意思疎通しているかも注目してください。

《大会後》
—銀メダルという結果でしたが、今の心境は？

湯野 本当に「あと一歩」及ばず悔しい結果でしたが、デフリンピックでは初のメダルを手にすることができたのは誇りです。



イロンドル熊本 湯野 琉世選手

—観客の応援はどうですか？

湯野 声ではなく、さまざまな“目に見える”応援をしてもらい、それが選手たちにとっても大きな力になりました。デフサッカーを知ってもらう機会にもなり、本当に感謝しています。

—今後の抱負や目標は？

湯野 選手としては、次の「世界一」という目標に向かってさらに精進していきたいです。また来年から、私と同じように耳が聞こえなかったり、障がいのある子どもたちにも、サッカーの魅力を伝える活動を始める予定です。私のこれまでの経験を伝えることで、一人でも多くの子どもたちがサッカーに触れてもらえれば嬉しいです。

県出身・湯野琉世選手が全試合に出場し貢献

11月15日〜26日まで、「東京2025デフリンピック」が開催されました。サッカー競技は、福島県のJヴィレッジで行われ、デフサッカーの男女日本代表は共に銀メダルを獲得。男女ともデフリンピックで初のメダル獲得となりました。

男子代表は決勝でトルコに1-2と惜しくも敗れたものの、熊本県出身の湯野琉世選手(イロンドル熊本)が全試合に先発出場。守備の要として、ドイツ武者修行で培った球際の強さでチームの銀メダル獲得に大きく貢献しました。

大会前後に湯野選手にインタビューしましたので、大会に臨む意気込み、そして今後の抱負などを紹介します。



サッカー男子最終順位

1位：トルコ	以下、4位：アメリカ／5位：ウクライナ
2位：日本	6位：イギリス／7位：イタリア
3位：フランス	8位：ブラジル(全13カ国参加)



Handball

チームを世界に通じる強豪に育て 熊本のスポーツ界を盛り上げたい！

風戸 永田さんは現役時代、チームの中心選手として活躍し、日本代表として東京五輪にも出場されました。まずは選手時代を振り返っていかがでしたか？

永田 終わってみれば、「17年間もやっていたんだな」という感じ。1年1年試合があるので、あつと言う間に流れていきました。

風戸 現役引退後、一旦はチームを離れましたが、今度は指導者として戻ってられました。そこにはどんな思いが？

永田 引退後は会社も退職してデスマークにコーチの勉強をしに行きました。その後、「普通の生活をしてみたい」と思い、地元(福岡県)に戻って一般企業で2年間働きました。そこに今回のコーチ就任の話をいただきチャレンジしてみようと思いました。

風戸 もう一度ハンドボールの世界に戻るのもチャレンジなんですね。

自分の思いや考えを伝える難しさ： コーチとして感じる「会話」の重要性

永田 そうですね。現役時代にコーチ兼選手も経験しましたが、メインはあくまで選手だったので、コーチとしての自分に何ができるのか分からず、今も試行錯誤中です。

風戸 永田さんの中での指導者像はありますか？

永田 自分が思っていることを上手く伝えて、それを選手がプレーで表現できるようにすることだと思っています。ただ、それがまだ難しいので、言葉で上手く伝わらない部分は動いてみせてカバーしています。やはり会話がとても重要だと思っています。

風戸 ハンドボールはとても激しいスポーツですが、その中で17年間も続けてこれた秘訣は？



県サッカー協会理事で広報委員長を務めるフリーアナウンサーの風戸南陽子さんが、県内外のスポーツ関係者と対談するコーナー。今回は、女子ハンドボールチーム「熊本ビューストピンディーズ」のGM代行兼テクニカルコーチを務める永田しおりさんに話を聞きました。



熊本ビューストピンディーズ
GM代行兼テクニカルコーチ
ながた
永田しおり

1987年、福岡県生まれ。高校時代からハンドボールをはじめ、2006年に日本ハンドボールリーグのオムロンに加入。以来、2022年の現役引退までチームの中心選手として活躍。2013-14年シーズンにはベストディフェンダー賞を受賞。日本代表にも度々選出され、2021年の東京オリンピックにも出場。2025年4月から熊本ビューストピンディーズのGM代行兼テクニカルコーチに就任。

永田 私の現役時代よりも環境も整っているし、ファンも増えていきます。もちろん、プロ化によって各チームやリーグ全体のレベルも

上がっています。それは選手のモチベーションに繋がっていると思います。

スピーディーな展開が魅力の競技 ダイナミックスをぜひ生で感じて欲しい！

風戸 永田さんが考えるハンドボールの魅力とは？

永田 「走る、投げる、跳ぶ」という一連の動きが、とてもスピーディーに展開します。その展開の早さやシュートが決まる瞬間が最大の魅力ではないでしょうか。このダイナミックスは実際に見ないと分かりませんし、逆に一度見たらリピーターになってもらえんと思っています。ぜひサッカーファンの皆さんにも会場に足を運んで欲しいですね。

風戸 そのスピードの中で正確さも求められるので、とても難しい競技だと思いますが、なぜハンドボールを選んだんですか？

永田 中学時代はバレーボールをしていて、「オリンピックに出たい」という目標を持っていました。ただ、バレーボールだとどうしても身長が足りないなど…。たまたま当時の担任がハンドボールの顧問をしていて、「(ハンドボールも)オリンピック種目だよ」と言われて転向しました。その先生には本当に感謝しています。

風戸 今後、日本のハンドボールがどんな風になっていけばいいなと思いますか？

永田 同じ室内競技のBリーグ(バスケットボール)のようになつてくれたら嬉しいですね。あれだけの観客の中で試合が出来れば選手のモチベーションも上がると思います。また、日本代表が活躍しないメディアにも取り上げてもらえないので、アジア、世界で活躍してメダルが取れるように私もコーチとしてサポートしていきたいですね。

永田 とにかく褒めます。そして、たくさんチャレンジさせる。東京オリンピックの時の代表監督もデスマーク人で、すごく褒めてくれました。日本人は褒められ慣れていないので、最初は戸惑いもありましたがストレスはなかったですね。また、デスマークでは社会人だけでなく、小中高校生に対してどんな指導をしているのかも見て来ました。

風戸 日本のハンドボール界はプロリーグもできましたが、こうした環境の変化をどう感じていますか？

プレーオフ進出、リーグ優勝に向け より失点の少ないチームに

風戸 指導者としての目標はありますか？

永田 まだコーチとしては1年目ですが、チームの目標であるプレーオフ進出、そして優勝に向けて選手がレベルアップできるようにすることが一番ですね。また、監督と選手の間、フロントスタッフと選手の間で、お互いにとってよりよい環境ができるようサポートしたいと思っています。

風戸 すでに今シーズンの「リーグH」も始まっていますが、チームとしての仕上がりはどうですか？

永田 新加入の選手もいてチーム力は上がったと思います。スピードはもうあります。特にディフェンスの強さが特長のチームです。より失点の少ないチームを目指して、そこは少しずつできてきているのではないかと思います。現在中断中のリーグ戦は、1月23日に再開(山鹿市総合体育館・ハニービー石川戦)しますの、ぜひお越しください。

風戸 最後に、熊本のスポーツファンの皆さんにメッセージをお願いします。

永田 熊本には、プロ・アマチュアを問わず、バスケットボール、サッカー、ビーチサッカー、野球、バレーボール、バドミントンなど、多くのチームがあります。そうしたチームが競技の壁を超えて協力しあい、熊本のスポーツを盛り上げていきたいですね。もちろん私たちビューストピンディーズも負けずに、日本だけでなく世界でも強豪といわれるチームになれるように頑張ります！



今後の試合日程など、
熊本ビューストピンディーズに
関する情報はコチラでチェック！



ホームページ



県協会所属チーム紹介

Pick-up! Football Family

Vol.23

このコーナーでは、熊本県サッカー協会に所属しているチームの中から、毎号紹介します。今後紹介してほしいチームも募集しています(自薦・他薦を問いません)。

60年近い歴史を持つ社会人チーム ジュニア指導などで地域のすそ野拡大にも貢献



練習開始は20時や21時から。限られた時間で効率的な練習を心掛けています



パス回しの最中にはお互いの仕事や家庭のことなど、雑談も交えながら体を温めていきます



県内でも最も歴史のある社会人チームの一つで、その歴史は55年を超えます。2025年の熊本県社会人リーグ1部を制し、来年1月には九州リーグ昇格をかけた各県トーナメントにも出場を控えています。現在、19〜40歳までの35人が所属。火曜・金曜の週2回、嘉島町スポーツ交流広場やくまトヨパークで練習を行っています。チーム名にもある通り、嘉島町在住や出身の選手

ゲーム形式の練習になれば、一つ一つのプレーに気迫がみなぎります



また、地域で立ち上がったチームらしく、所属する選手たちが地域総合型スポーツクラブでジュニアの子どもの指導に当たるなど、地域でのサッカーのすそ野を広げる活動も行っています。宮田監督は「嘉島町は熊本県フットボールセンター(COSMOS)など、サッカーをする環境にも恵まれています。まだサッカーをやったことのない子どもたちにその魅力を知ってもらうと共に、嘉島SCがあることで、大人になってもサッカーが続けられることも知ってもらえれば」と話します。

が中心で、小中学校時代の先輩後輩なども多く、チームの一体感につながっています。監督を務める宮田望さんは、「守備ではある程度の決めごとをつくり、攻撃は選手の自由にやらせています」とチームの特色を語ります。それぞれが仕事や家庭を持ち、常に全員揃って練習するのが難しい中で、「社会人のサッカーはあくまで趣味。勝つのはご褒美、みたいなもので、自分たちがやっていて楽しいサッカーをすることが大事」と強調します。

嘉島サッカークラブ

1種・社会人

■設立／1969年
■代表／杉本 靖博
■選手数／35名

(チーム沿革)

1969 (昭和44)年 チーム発足
2001 (平成13)年 熊本県社会人サッカーリーグ1部昇格
2013 (平成25)年 同1部リーグで初優勝
(2017年、2019年、2025年も優勝)
2014 (平成26)年 RKKカップ争奪全国クラブチームサッカー選手権熊本予選優勝
(2019年、2022年、2023年も優勝)
2021 (令和3)年 全国社会人サッカー選手権大会熊本予選優勝



白石 卓朗さん

チームではMFを務めています。嘉島町の出身で、加入して7年近くなります。現在、教員として上天草市の学校に通勤していて、練習に参加するのも大変ですが、このメンバーだから続けられています。31歳で、チーム内ではちょうど中間の年齢なので、若手とベテランの間をつなぐ存在として貢献できればと思います。



松田 明来さん

大学卒業後すぐに入り、まだ1年目ですが、メンバーの皆さんが優しく自分の個性を出しながらのびのびとプレーさせてもらっています。時には和やかに、時には厳しくというメリハリのある雰囲気が好きで、サッカーの楽しさを改めて感じています。今後は、もっと決定力を上げて少しでもチームに貢献したいと思っています。

ランザ熊本シニア

シニア(O-60)

■設立／2019年
■代表／白井 輝夫
■選手数／20名

(チーム沿革)

2019 (令和元年)年 チーム発足
2020 (令和2)年 第2回熊本県シニアO-60サッカーリーグ優勝
(2021年、2022年、2024年も優勝)

シニア世代屈指の強豪チーム 楽しみながら、いつまでもプレー続けたい

一緒に練習する機会は少なくとも、いざ試合が始まれば、それぞれが持てる力を発揮してチームを機能させます



例え年齢は60オーバーでも、随所に往年の切れを感じさせるプレーも見られます！



試合が終われば、サッカーを楽しむ仲間同士、笑顔で握手をして互いを称えるのもシニアサッカーの魅力の一つ



島崎 修さん(左)

サッカーの魅力は何と言っても人との出会い。私は中学時代の恩師がサッカー部の顧問で、以来、50年以上サッカーに関わっています。教員としては指導していた2つの中学校を全国大会に導き、私自身も大学、マスターズ、O-50、O-60、ねんりんピックなど、各年代で全国の舞台を経験させてもらい、それが財産になっています。

澤田 誠さん(右)

小学校からサッカーを続けていますが、時代と共に戦術やプレイスタイルも変わるので、その時々楽しさがあって、いくつになっても飽きることがありません。チームとしての練習時間は取れませんが、自宅での筋トレや空き時間を見つけての自主練など、工夫しながらパフォーマンスを維持できるようにしています。

県シニアO-60サッカーリーグで過去4回の優勝を誇る強豪チーム「ランザ熊本シニア」。所属選手は、荒尾市や八代市など、在住の地域も県内各地に点在しているため、普段一緒に集まって練習する機会はほとんどなく、試合ごとに集まってぶつつけ本番で臨んでいるとか。

チームのキャプテンを務める赤木孝治さんは「練習嫌いの試合好きが多いチームです」と謙遜しますが、40〜50代から一緒にプレーしてきたメンバーも多く、気心の知れた同士、ピッチに立てば問題なく意思疎通ができるのも強みの一つ。チームの特色を尋ねると、「気持ちだけは全員守備・全員攻撃を心掛けていますが、体力も衰えもあるもので、そう上手くは行きませんが(笑)」と笑います。それでも、「60歳を過ぎた今でも増加傾向にあり、昨年から新たなカテゴリーとしてO-65もできるなど、まだまだ元気な方々が多い世代。ランザ熊本シニアでも、最年長プレーヤーは70歳で、今もピッチに立っています。これからも『出る大会では優勝を目指す』と意気軒昂ですが、半面、『一番大事なことは皆がケガなく試合を終え、少しでも長くプレーすること』と、シニアならではの目標も。来年2月までのリーグ戦も一戦一戦楽しみながら戦います。

もこうして皆で楽しくサッカーに打ち込めていられることが幸せ。好きだからこそできることだと思えます」と語る赤木さん。一方で、「やはりこの年齢になると(メンバーの)ケガはもうろん病気も心配です。集まればすぐに持病や薬の話になります(笑)」。

シニア世代は、年々チーム数

MatchSchedule

熊本に本拠地を置く、さまざまなチームの2025-2026シーズンの試合日程(ホーム戦のみ)を紹介します。
ぜひ応援に行って、選手たちの熱いプレーに声援を送りましょう！

B2リーグ 熊本ヴォルターズ			
日程	試合開始	対戦相手	試合会場
1月 3日(土)	15:05	岩手ビッグブルズ	熊本県立総合体育館
1月 4日(日)	14:00	岩手ビッグブルズ	熊本県立総合体育館
1月31日(土)	15:05	青森ワッツ	熊本県立総合体育館
2月 1日(日)	14:05	青森ワッツ	熊本県立総合体育館
2月14日(土)	15:05	ライジングゼファー福岡	熊本県立総合体育館
2月15日(日)	14:05	ライジングゼファー福岡	熊本県立総合体育館
2月28日(土)	15:05	バンビシャス奈良	熊本県立総合体育館
3月 1日(日)	14:05	バンビシャス奈良	熊本県立総合体育館
3月14日(土)	15:05	福島ファイヤーボンズ	熊本県立総合体育館
3月15日(日)	14:05	福島ファイヤーボンズ	熊本県立総合体育館
3月18日(水)	19:05	ライジングゼファー福岡	熊本県立総合体育館
3月28日(土)	15:05	鹿児島レブナイズ	熊本県立総合体育館
3月29日(日)	14:05	鹿児島レブナイズ	熊本県立総合体育館


★熊本ヴォルターズのHPはコチラ➡





リーグH 熊本ビューストピンディーズ				
節	日程	試合開始	対戦相手	試合会場
第 9 節	1月23日(金)	18:00	ハニービー石川	山鹿市総合体育館
第11節	2月 6日(金)	18:00	HC名古屋	山鹿市総合体育館
第15節	3月 7日(土)	14:00	三重バイオレットアイリス	山鹿市総合体育館
第18節	4月19日(日)	14:00	イズミメイプルレッズ広島	山鹿市総合体育館
第19節	4月25日(土)	14:00	ザ・テラスホテルズ ラティータ琉球	山鹿市総合体育館
第21節	5月16日(土)	14:00	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	山鹿市総合体育館

★熊本ビューストピンディーズのHPはコチラ➡



V.LEAGUE WOMEN フォレストリーヴズ熊本			
日程	試合開始	対戦相手	試合会場
1月24日(土)	13:00	リガーレ仙台	ナースパワーアリーナ
1月25日(日)	12:00	リガーレ仙台	ナースパワーアリーナ
2月21日(土)	13:00	信州ブリリアントアリーズ	ウイングまつばせ
2月22日(日)	12:00	信州ブリリアントアリーズ	ウイングまつばせ
3月 7日(土)	13:00	ヴィアティン三重	ウイングまつばせ
3月 8日(土)	12:00	ヴィアティン三重	ウイングまつばせ
3月14日(土)	13:00	プレス浜松	ナースパワーアリーナ
3月15日(日)	12:00	プレス浜松	ナースパワーアリーナ

★フォレストリーヴズ熊本のHPはコチラ➡



これからもっと、
私はスポーツを楽しむんだ。

卓球歴24年。バスケ歴1日。
卓球の200倍もの重さがあるボールは、
なかなか言うことを聞いてくれない。

それでも、体を動かすだけで気持ちがいい。
初対面でもあっという間に仲間になれる。
競技人生での楽しさとは違う、
スポーツの楽しさに出会えた。



スポーツを極める人も、楽しむ人も、
すべての人のために、
スポーツくじの収益は使われています。

スポーツくじ   
スポーツくじは、スポーツと人を育てる仕組み。

「くまもとサッカーフェスタ2026」開催決定！

2026年
1月10日(土)・11日(日)

2025年1月18日・19日に開催し、22,000人余りが来場した熊本県サッカー協会(KFA)主催イベント「くまもとサッカーフェスタ」が、また来年も行われます。熊本市の中心市街地でサッカーを近くで見てもらい、サッカーに触れてもらい、いろんなサッカーを知ってもらうために開催するイベントで、キックターゲットやスピードガンサッカー、3×3フットボールなどのサッカー関連の体験ブースの他、パラスポーツ体験、ニュースポーツ体験など、さまざまなスポーツに触れられるのが魅力です。

さらに、1月10日は元女子プロサッカー選手・鮫島彩さん、丸山桂里奈さん、11日は元プロサッカー選手・柿谷曜一朗さんを迎えてレジェンドトークショーも開催。その他、多彩なゲストやキッチンカーもあり、会場で1日中楽しめるイベントです。ぜひ、ご来場ください！

くまもとサッカーフェスタ2026

開催日時／2026年

1月10日(土)・11日(日)

10:00～17:00

会場／花畑広場

入場／無料

主催／一般社団法人 熊本県サッカー協会

後援／熊本県、熊本市、熊本放送(RKK)、くまもと県民テレビ(KKT)、テレビ熊本(TKU)、熊本朝日放送(KAB)、熊本日日新聞社、エフエム熊本(FMK)、熊本シティエフエム

両日とも日本サッカー界に名を刻んだレジェンドプレイヤーが来場し、
熱いサッカートークを繰り広げます！



鮫島 彩さん



丸山 桂里奈さん



柿谷 曜一朗さん



巻 誠一郎さん



2万人を超える
来場者で賑わった昨年の
「くまもとサッカーフェスタ」
の様子

トレメシ Vol.23 アスリートのための「トレーニング食(めし)レシピ」

このコーナーでは、サッカープレイヤーをはじめ、アスリートのパフォーマンス向上に欠かせない栄養たっぷりのレシピを紹介します。ぜひお試しください！



11月下旬からのインフルエンザの大流行など、この時期はそれまでに溜まった1年の疲れが免疫力の低下などにつながり、ウイルス性の感染症の心配が増します。日頃の練習の成果を発揮するはずの試合に、ケガ以外の理由で出れないということにならないよう、食事でしっかりと栄養補給を行いましょう！

渡邊 まみさん／食育料理研究家、アスリートフードマイスター
熊本を拠点に大分でも料理教室の講師として活躍。また、長男は現在も社会人チームでサッカーをしているため、アスリートの食事にも精通。Instagram(mamipan358)で情報発信中。

やわらか！ recipe 1 塩麴鶏のトマト煮込み

糀に含まれる酵素の働きにより、鶏肉の肉質が柔らかくなったり、旨味が増すなどの効果があります。また、酵素には消化吸収を促進する働きもあります。



■材料(2人分)
鶏むね肉 …… 1枚(250gぐらい)
塩麴 …… 大さじ2
ブラックペッパー …… 適宜
米粉 …… 小さじ2
にんにく …… 1/2片
玉ねぎ …… 1/4個
ぶなしめじ …… 1/4パック
トマト …… 1個
トマトケチャップ …… 大さじ2
きび砂糖 …… 小さじ1
お好みの野菜 …… 適宜

【作り方】

- 鶏肉に塩麴をまぶし30分置く。にんにくをみじん切り、玉ねぎは薄切り、トマトは小さめの角切りにする。
- フライパンにオリーブオイル、にんにく、米粉をまぶした鶏肉、玉ねぎ、しめじ、トマト、トマトケチャップ、きび砂糖を入れ、ブラックペッパーをふりかけてから蓋をして中火で10分～15分煮込む。
- 途中で鶏肉をひっくり返し、鶏肉が煮えたらお好みの焼き野菜を添えて完成。

ふるるん♡ recipe 2 シェンドウジャン 鹹豆漿風豆乳スープ

台湾では朝食の定番料理として食べられている鹹豆漿。酢を加えることで豆乳が少し固まり、おぼろ豆腐のような食感になります。ラー油の辛味を加えると食欲も増します！



■材料(1人分)
豆乳(無調整) …… 200ml
米酢 …… 小さじ2
塩麴 …… 小さじ1
醤油 …… 小さじ1
好みのトッピング…適量
(アーモンド、桜えび、油揚げ、ねぎ、ザーサイなど)
ラー油 …… お好みで適量

【作り方】

- 食べる器に米酢、塩麴、醤油を入れておく。
- 豆乳を沸騰直前まであつあつに温め、①の器に注ぐ。
- そこに、あらかじめ準備しておいたお好みのトッピングを加えて出来上がり！

「KFA NEWS」は、ここで手に入れよう！

「KFA NEWS」は、サッカー協会員以外的一般の方でも手にいれることができます。事務局にお越しいただくか、下記URLからダウンロードできます。

<http://kumamoto-fa.net/about/news/>

右記QRコードからも
アクセスできます→



今年度の熊本県サッカーリーグは、嘉島サッカークラブが6年ぶり4回目となる優勝を果たしました。現在、九州サッカーリーグには県勢の参加がありません。嘉島SCには、ぜひその壁を越え、熊本から再び九州の舞台へ挑戦してほしいと願っています。一方で、熊本県サッカーリーグに参加するチーム数は年々減少傾向にあります。高校・大学を卒業した選手たちが熊本でサッカーを続けられる環境を整え、地域に根ざしたサッカー文化を次世代へつないでいけるよう、委員会として引き続き取り組んでまいります。

(1種社会人委員会 徳元)

編／集／後／記

私自身サッカー経験はないものの、兄・植田直通(現：鹿島アントラーズ所属)をはじめ大切な人たちが、人生をかけてサッカーに向き合う姿を見てきました。サッカーと真摯に向き合い、勝ちにこだわり、応援される人であることがどれだけ大切か。今回の取材で何った大津高校のように、日本代表を何人も輩出する素晴らしい育成体制が熊本にはあります。引き続き、熊本県のサッカーが持つ魅力を広く発信できるよう尽力してまいります。

(植田明依)